



寄居ロータリークラブ 会報

YORII ROTARY CLUB

R.I.会長
ゴードンR.マッキナリー
第2570地区ガバナー
高丹 秀篤
第4グループガバナー補佐
原島 生慈



令和5年9月27日(水)
会場 ホテルシティプラザ寄居

第2705回例会

司会 吉田 昌弘 (SAA)
点鐘 松本 則之会長 (12:30)
ソング 奉仕の理想

お役様

天城屋株式会社 石井 靖彦 様
米山奨学生 史 楠 さん

1. 会長の時間 寄居RC 松本 則之さん

皆さんこんばんは。今年初めての夜間例会になります。その記念すべき初の夜間例会に本日は天城屋株式会社の石井靖彦様を、お客様に招いています。天城屋さんは住宅を建築する業者さんで、こころハウスさんという屋号で商売をされています。主にお客さんは、建てた方が大変気に入って、自分の親族とか、友人知人に口コミで広めることで、販売件数を伸ばしている会社です。私も立ち上げ当初からお付き合いしている方で、人柄も素晴らしく、8月まで本庄の倫理法人会の会長をされていた方です。後ほど卓話をしていただきますので、楽しみにしてください。

また楠ちゃん、無事日本に帰ってきて本当に嬉しいです。しかもみんなにお土産をこんなにたくさん買っていただいて、本当にありがとうと言うしかありません。楠ちゃんの誕生日いつですか。皆さん、楠ちゃんの誕生日は12月だそうなので、気持ち何かお返しをしてもいいのかなと思います。(笑) まあ、楽しい会でいきましょう。

地元小泉龍司さんが、せんだって内閣の改造で法務大臣に任命されて、就任しました。私も法律に関わる人間なのですが、先日新聞で、2017年に親族ら3人を殺害して、2人に重傷を負わせた事件の控訴審がありました。被告が心神喪失状態ということで、一審に続き無罪ということになりました。

私、こういうのを常々疑問に思っている質の人間です。ほとんどの精神障害のある方は、心穏やかで、優しい方なのですが、後天的に精神を病んだ人、例えば、毎日不平不満や文句とか、社会から、悪くされているんじゃないかと

というようなことを考えている人というのは、どんどん精神を病んで、中にはそれが原因で、精神病ということになってしまう方もいらっしゃいます。そういった理由で精神を喪失してしまった方と、元々の穏やかな精神の障害のある方、これを同じ枠でくってしまう今の刑事訴訟の制度、これはどうなのかという思いがあります。私も、ここにいる幹事のお父さん、勇さんとの付き合いで、小泉龍司さんの龍の会というのに、会員としていつの間にか入っています。もし、今後会うような機会があれば、せっかく法務大臣になられたのでそういった所の問題点を、話すことができる機会があればいいなと思っております。

本日は卓話が盛りだくさんで楽しみです。会長の時間は短めに終わらせたいと思います。どうもありがとうございました。

2. 幹事報告 寄居RC 松本 幸男さん

改めましてこんばんは。幹事報告をさせていただきます。まず初めに、甦れ2570プロジェクト、秋の信州美食



の旅ご案内が届いています。日時は、10月28日土曜日、集合場所は本川越駅西ロータリー、午前7時30分出発。

または、本庄商工会議所駐車場、午前8時20分出発です。内容は、バス旅行で、信州リンゴ狩り、善光寺、そして松茸料理を楽しむという内容になっています。募集が先着80名となっておりますので、寄居RCからも、ぜひ興味のある方はご参加いただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。連絡は幹事または事務局までお願いします。

そして SNS 発信の際、ハッシュタグ追記のお願いが、2570地区、公共イメージ委員から来ています。FacebookやInstagramなど SNS を利用して発信する際に、ぜひ文章の最後に、ハッシュマーク R I D 2 5 7

70 (#RID2570)の追記をお願いしますということです。その追記をすることにより、皆様の原稿を簡単に検索できるようになるそうです。

続きまして、2023年度米山梅吉記念館訪問研修旅行のご案内です。これは米山に関わっている委員の会員の皆様、クラブ会長の方々に通知等と連絡がいつていると思います。担当の方はご対応の程よろしくをお願いします。最後になりますが、第29回寄居地区防犯大会並びに寄居地区暴力排除推進大会の開催について通知が来ております。令和5年10月21日(土)花園文化会館、アドニスで行われます。第1部が大会式典、午後1時30分から、第2部がアトラクション、午後2時40分から細川たかし歌謡ショーとなっています。歌謡ショーのチケットが2枚あるそうなので、ご興味ある方はご連絡をよろしくをお願いします。本日は小野後、石井様の卓話があります。寄居ロータリークラブ一同楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。監事報告は以上となります。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会 赤坂 匠康さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
9月27日	35	3	32	0	91.43%
9月6日の修正出席率					80.00%

(2) ニコニコボックス委員会 下条 誠さん

松本 則之さん 石井さん、本日はありがとうございます。卓話、楽しみにしています。

松本 則之さん 楠ちゃん、お帰りなさい。お土産までありがとうございます！

松本 則之さん 大谷翔平は今シーズン終わってしまいましたが、サッカー日本代表、三苫、久保が元気で楽しいです。

松本 幸男さん 石井様、ようこそ寄居RCへ。本日の卓話を楽しみにしておりました。よろしくお願ひいたします。

松本 幸男さん 楠ちゃん、お帰りなさい。お元気そうで何よりです。お土産をありがとうございます。

津久井大雄さん 石井様、本日は宜しくお願ひ致します。

津久井大雄さん ブルドックを飼いました。今日で2日目です。私そっくりでかわいいです。

荻野 幸一さん 石井靖彦様卓話、有難うございます。楽しみです。

佐橋 正行さん 石井靖彦様、寄居ロータリークラブへようこそおいでくださいました。卓話よろしくお願ひします。

浅見 克一さん 天城屋様 本日の卓話、楽しみにしております。有難うございます。

小宮 俊光さん 石井さん、ようこそ寄居RCへ。卓話、楽しみです。宜しくお願ひします。

柴崎 正さん 本日、警察署で署員を前に警察官友の会について卓話をやってきました。終わってホッと留置所から出てきた気分です。

清水 浩一さん 石井靖彦様、寄居RCへようこそ。卓話楽しみです。

清水 浩一さん 楠ちゃんお帰り！無事でなによりです。お土産ありがとうございます！

三友 俊一さん 天城屋社長 石井様、本日よりお願ひいたします。

加藤 祐司さん 石井靖彦様、ようこそ寄居ロータリークラブへ。卓話楽しみです。よろしくお願ひいたします。

安齋治一郎さん 石井様、寄居RCへようこそ。たのしいお話を楽しみにしています。

大久保知明さん 石井さん、卓話よろしくお願ひします。楽しみです。

赤坂 匠康さん 楠ちゃん、お帰りなさい。無事にサプライズ計画できた？たくさんのお土産をありがとう！♡♡♡

荻野 真仁さん 石井靖彦様、本日の卓話を楽しみにしております。

橋本 則彦さん 石井社長、本日の卓話、楽しみにしていました。ありがとうございます。

橋本 則彦さん 楠ちゃん、貴重なおみやげをありがとうございます。

森田 淳一さん 石井社長、ようこそ寄居RCへ。本日の卓話楽しみにしています。

吉田 昌弘さん 石井社長、本日の卓話楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

小鮎 哲夫さん 石井様、本日の卓話よろしくお願ひします。楠ちゃん、お帰りなさい。

高田 徹さん 石井靖彦様、本日の卓話楽しみです。よろしくお願ひいたします！楠ちゃん、かわいいお土産、ありがとうございます！

権田 功さん やっと暑さもやわらいできました。体調に注意しましょう。

高倉 隆綱さん 石井様、卓話楽しみにしておりました。本日はよろしくお願ひ致します。

豊田 康業さん 石井さん、ようこそお越しくださいました。卓話を楽しみにしております。

野村 文昭さん 石井社長様、本日の卓話楽しみにしております。

押田 大助さん 石井社長、卓話楽しみにしております。

土師 賢一さん 石井様、本日は楽しみにしておりました。よろしくお願ひ致します。

柴崎 正さん 前回欠席のため。

大久保知明さん 前回欠席のため。

野村文 昭さん 前回欠席のため。

下条 誠さん 石井靖彦様、卓話楽しみです。
本日もロータリーライブを楽しんで参
りましょう。

米山奨学生 史 楠さんへ 奨学金の授与



史 楠さん ご挨拶

みなさん、こんにちは！お久しぶりです！いつもお世
になっております、ありがとうございます。
この前中国に帰ったとき、家族に会
えてとても嬉しかったです。時間の関
係で、今日は中国に帰国したご報告は
省略させていただきます。来週、詳し
くご報告させていただきます。

先週の金曜日、学校の後期授業が始まりました。前期
の結果も出ていました。全体のGPA は 3.38
で、前学期の成績より0.06増えただけです。残念な
がら全てSは取れませんでした、AとCが1つずつ取
れました。今学期の成績目標はオールSです。引き続き
頑張ります！

9月16日に、私は世界学友大会後の深睦会に参加さ
せていただきました。本当に嬉しい「再会」でした。皆
にとって嬉しい集まりだったと思います。中国の四川料
理を食べました。料理が少し塩辛かったですが、皆に再
会できて、少しでも親睦を深めることができ、楽しい時
間を過ごすことができました。また、様々な経験をす
ることができました。本当にありがとうございます。また
皆様と会える日を楽しみに頑張りたいと思います。

今後も米山ロータリー奨学生として、感謝の気持ちを
忘れず、私の夢に向かって一生懸命、一步一步進んで行
きたいです。

以上です。ご清聴ありがとうございます

「卓話」

天城屋株式会社 石井 靖彦 様

皆さん、こんばんは。ご紹介いただきました、天城屋株
式会社の石井靖彦と申します。私は本庄市の倫理法人会の
会長を、今年8月まで2年間お世話
になっておりました。家は、本庄で
はなく実は秩父です。秩父の旧荒川
村。この辺の方だと、白久のスケ
ートセンターわかりますか。あの近く
です。もう一つ手前の駅に武州日野
駅がありますが、武州日野駅と白久
の間というところに住んでおります。



縁がありまして、本庄市に事務所を構え、その後3年し
て上里に少し広い土地を見つけて事務所を構えている、個
人住宅屋です。工務店という位置づけでしょうか。私は、
この近くに金子工務店という、型枠大工さんがいるので
すが、そこで住宅事業部というのを20年ぐらい前立ち上げ
て、それを今から10年前に金子ホームという会社にして
渡したという経緯があります。

今私62歳ですが、52歳のときに熊谷に事務所を初め
て出しました。ちょうど10年経ちます。10年前の今ぐ
らいに、熊谷駅の熊谷女子高校の道路を挟んで西側に10
坪ぐらいの貸店舗を借りて創業した人間です。それから1
0年して、今おかげ様で上里町に自社の建物を作って、そ
こで営業活動をしています。先ほど松本会長からお話し
いただきましたように紹介が主ということです。大きな形では
やっていません。作る棟数も年間に5棟から8棟ぐらいで、
小規模の工務店ということで売り上げも2、3億です。た
だ自社の思いというのがあります。私先ほど言いましたが、
秩父に生まれ育ったので、大変寒い家に住んでいまして、
小さい頃、家の中のコップの水が凍ってしまうくらい寒い
所でした。なので、真冬でも温かく暮らしたいということ
で、今はTシャツ短パンで暮らせるようなエネルギーも小
さい、ランニングコストもかからないような家に住んでい
ます。それを皆さんに広めたいということを思っています。
自己紹介はそんなところです。

今日はウサギとカメの話をしようかと思いましたが。皆
さんウサギとカメの話を知っていますか。ウサギとカメの話
は、ウサギとカメが話をし、山の上のてっぺんまで行こ
うよということで競争しました。競争してどうなりました
か。亀が勝ちます。どうしてカメが勝ったのでしょうか。
ウサギが寝ていたからです。それなのにウサギとカメと言
います。普通、勝者を先に言いますよね。カメとウサギと
いう話の筈なのですが。おかしいですね。また、ジャイ
アントファンの人がいたら、ジャイアントと、阪神だと、阪
神巨人と言わないですね。巨人阪神と言います。地域や勝
っているところ、強いところを先に言うはずですが。でもウ
サギとカメなのです。ウサギとカメの話をすると、いろん
な方の話があって、カメはのろまだけど、一生懸命努力を
して、休まずにゴールを目指した。カメはゴールを見てい

た。そしてウサギはカメを見ていた。だから油断したというのと言われる話です。ところが、ウサギとカメです。私も不思議だなとずっと思っていました。ウサギとカメ。でも、なぜウサギとカメなのか、だんだんわかってきました。

2年間倫理法人会というところで会長をすると、結構鍛えられます。そこで掴んだ自分なりの解釈です。ウサギとカメになっている理由。それは、カメは頑張っただけでゴールを一応しました。そしてみんなに、カメさんは、私は努力をしたから、ゴールを先にしたと証明しました。1位になりました。うさぎさんは寝ていました。でも、ウサギはカメがゴールする寸前だったのを見て、これはやばいと思って、うわあと走っていきました。

でも、カメが1着でウサギは2着。ここでよく考えてみてください。1位か2位かはあるけれど、ウサギも結局ゴールしました。こういう会でもそうですが、ある目標を立てました。その目標に対してどういうときに、着実に1ヶ月1ヶ月、積み重なって行ってゴールしたのか。最後にゴールテープを、後からかもしれないけど達成したのか、ゴールには着いた。やるべきことはやったということが一つ。それと、カメは人に「私は1位になった。」ということを証明したわけです。ウサギは証明できませんでした。ウサギは、びよんびよん跳ねるという能力を持っています。カメと違うのに、ウサギがノロノロ歩くというのは、その人の能力を生かしているわけではなく、びよんびよん跳ねて最後はゴールしたので、びよんびよんだから、うさぎはその人の能力をしっかりと出し切ったということが一つと、ウサギ、きっと思いました。「あー、俺寝てたからな。まづい事しちゃったな」と。ということはこのウサギ、自分がやったことに対して気づきがあった、ということです。気づきがあったということは、ウサギは成長したのです。カメは証明しました。いろんな方が言われているのが、何かをするときに、こういう場所に来たときに、例えば、「あ、ゴミが落ちている。拾っておこう。」と言って拾ったとします。でもそれは誰かが見ているかと思ってやると証明した行為。しかし、気づいたらポケットにさっさとしまっただけで、人に気づかれないようにするのが自分の気づきだとしたら、うさぎさんも結構いいことしたのではないかと、とも思ったのです。なので、もしかしたらウサギとカメというお話の裏に、もう少しみんな考えた方がいいよ、自分なりに考えた方がいいんじゃないのという事を感じたウサギとカメのお話です。

ではどうしてこういうことに気がついたのかという事ですが、皆さんここに今年の会員増強目標というのがありますね。倫理法人会でも会員増強目標という言葉の代わりに普及目標ということでやります。増強、人数を増やそうということです。何で人数増やすかという、この会に入っているといいんだよというのを自分たちで経験したので、もっと仲間を増やして、もっといい国にしようじゃないか、もっといい街にしようじゃないか、もっと良い自分になるんじゃないか、ということです。そういうのが本当

にわかるというのは、すごく進んだ気持ちの人なのかかなと思います。私2年前に本庄の倫理法人会の会長になったとき、目標を170社と掲げました。本庄は、そこそこ倫理法人会の人数がいるのですが、実際やって行って終盤になり、あと年度の終わり、締め切りまで1ヶ月半、45日になったときに、22社足りませんでした。やはり少し大きいことを言い過ぎたという面もあるのですが、その22社、どうしようかということでも考えました。人にもいろいろと相談しました。22社が本当に辛く感じました。そのときに、倫理法人会の北部地域というのがあって、この県北の地域の地区長をされたのが、安齋治一郎さんなのですが、安齋さんはもう既に本庄を諦めていました。というか、ほぼ県内全域、「ついに駄目だ、本庄」と思ったらしいです。そう思わない人間が何人かだけいました。実は私ももう半分ぐらい諦めていたのですが、その周りの人間から気づかされました。寝てる場合じゃないよと。お前も跳ねればいけると。跳ねればいけるのだからわからないですけど、みんなそう思ったらしく、「やれる、やれるよ。」という話になり、その45日間で22社を普及するということになりました。そんなとき、皆さんはどうしますか。私は考えたのですが、本当に答えが出ませんでした。答えは出なかったのですが、やることを決めました。やることを決めたというのは、自分でやるということを決めるということですが、多くの皆さんはもう経験済みだと思います。言葉に発しているときの、「俺やるよ、決めた。やる。」と言っているとき、多分、ここから上で言っています。ここから上で。あと、人の情に胸が熱くなるようなときに、「じゃ、俺やるよ。」と言ったときは、ハート、胸が熱くなっているのでしょうけど、でもこのぐらいだと、空回りしてしまうのがわかりました。で、そのときにずっと悩んで悩んで、何か物が腑に落ちるというようなときないですか。これだ！と、よくわからないものが自分に降りてきたみたいな。そのときに言われたのが、意思の意、意味の意。それが腹に落ちるってということだということをお教えしてもらいました。その感覚になりました。どう説明しろと言われても、よくわかりません。ここで考えてるわけでもなく、やらなくちゃいけないからやるよと言っているのでもないし。なんか突然違う空気感が自分に襲ってきました。それで、そこで出た答え、これが素晴らしい答えなのです。45日あるのだから、できるよ。2日に1社。45割る22で、2.1です。45を2で割ると22.5だから、22社できるのです。すごい答えです。私は、名案だと思いました。やっとこれでできると思ったのです。2日に1社入会してもらえばいいんです。ただそれだけ。それを決めて、専任幹事、ここで言う会長幹事の相棒がいるのですが、幹事と三役、役員の方皆さん7人で、会長が2日に1社だと宣言するから、やるというから、もう毎日それしか言わなかったです。「できるよ、2日に1社やればいいんだよ。」

2日に1社やるということになるのですが、45日から1日経てば44日、また1日たてば43日また42日にな

る41日になる40日になると減っていくのですが、減っている間に1社と2社と出てきます。なぜかという、会長が決める、動く、ハグ。ハグは何だという、毎日1回2回3回動いたら、専任幹事とか事務長とかと、ハグ(抱き合う)に行く事をお決まりにしました。何か動いたら、自分決めたことをやろうと。こうやって鐘を鳴らすもそうでしょうし、逆立ちするもそうでしょう。何かをするというのを決めました、やりました。1社2社決まってきました。不思議なことに。

でも、2社決まっても残り20社あります。まだ20社もあるのかと思いきや、22社の人間からしてみると、2社減った。やった、近づいた。周りの段階では14社とか5社とかって言っているのですが、何かその14社にもうすぐ近いような気がしてしまいます。そういうふうな気持ちが入って、みんなで動き出したらどうなったかという、今までの会長さんたちがちょっと白けていたのですが、何で白けていたという、私が会長になってから、会の運営方針を変えろとして、いろいろなことを触りだしました。今までの流れを乱しておきながら、数も足りない。自分で言っておきながら数も足りない。「なんだよ石井、口ほどもねえじゃねえか。」と静かにしていたんですけど、なんか違う、多分歴代わかったのだと思います。こいつやるとスイッチが入った。自分たちもやったことだからわかるよと。そして電話がかかってくるようになりました。「午後3時、どこそこで待ってるから。話が、半分ぐらい決まっているから、あとはお前が決める。」と言ってきたり、「どこそこに行ってきたから、2回行っているから、もう1回行け。」とかそういう情報がどんどん出るようになりました。知らない間に違う会員さんもそういう動きをちゃんとしていただけのようになりました。おかげさまで、そんなことを毎日毎日毎日、今日は~だって、その専任幹事さんに言いに行って、また報告して抱き合っ、男がです。でもそれをやっていたら習慣になってしまいました。習慣は怖いもので、それをずっとやっていると安心するのです。やっぱり自分で決めたことをやり遂げるということが、すごく気持ち良かったです。周りの人に応援してもらったのです。応援してもらったんですけど、応援してもらえる自分になれたということと、そのときに170という会の組織が、今まで集まっていたんですけど、何か温かい、熱を帯びた会にだんだんできてきたのがわかりました。

そんなときに、ウサギとカメの話を、県南のあるうなぎ屋さんと話をしたときに、ウサギとカメは実はあの次の話があって、ああだのこうだのと言われているんですけど、実は耳聞いてなくて。どうしてウサギとカメなのですかねという話になって。それで自分で思いました、「これだよ！」と。自分が後から言ったのですが、普及の締め切りの日の前々日に、その目標170社を達成しました。そしたら、なぜかわからないですけど、おまけが1、2、3とかついてくるのです。そして、こういうことなんだと理解しました。ウサギは遊んでいたけど、ウサギとカメとなっている

のは、よく考えてみたらカメは確かに立派です。カメは、歩みが遅いかもしれない。だからそれを克服するために努力した。それはわかる。だけど、自分の個性っていうものがみんなあるはず。だからその個性を生かすというのはどうということなんだろう。別にウサギみたいに寝てるということじゃないだろうけど、何かしたら自分の個性に気がついて、ゴールをする。そういうことが、このウサギとカメで言いたかったことだなということで、私イソップさんに手紙を書こうと思ったのですが、イソップさんこの国だからよくわからなかったの、ちょっと調べることにしました。ただ、日本ではないということにはわかりました。Googleで検索するとすぐわかるよと言われたのですが、わからないので、今人に聞くようにしています。

それから、今日言い忘れましたが、ロータリーで卓話するというお話をいただいたので、今日朝一番に歯医者さんを予約して歯をクリーニングしてきました。本当これ一番に話さないといけなかったんですけど、すみません。歯を綺麗に見せようと思ったのは、第1印象大事です。笑顔が一番と言われますが、歯が黄色いとちょっとおかしいと思います。私は医者にはあまり行きません。今、上里町に事務所があって、その隣が歯医者さんです。歯医者さんに歯を磨きに行って、普及活動しています。そんなことも楽しみながらやれるようになってきました。170社ということを目指して、最終的には今171社ぐらいで、前後がありますが、本庄倫理法人会、活性化させていただいております。

最後に、天城屋という屋号ですが、この屋号、天の城の屋根の屋と書きます。大体これを見ると、カラオケの天城越えをイメージされる方が多くて、伊豆の出身ですかと言われますが、伊豆ではなく、秩父です。秩父には天城という場所があるのですかとも聞かれますが、ないです。これは、自分たちで会社を起すときに、どんな会社を目指そうかっていうことを考えました。会社名に何か思いを込めたいということで、天城屋にしました。天は、天井の天。天国の天です。数が多いということと、何でも理想的なものという意味があります。天ですからね。なので、理想的な天国のような城。城というのは、家を作るときに自分の城を作るんだと皆さん思うと思います。なので、天国のような理想の家を作る。屋、皆さんの会社の中にもあると思いますが、この屋というのは、プロ集団のことを言うそうです。何々屋、魚屋、肉屋、花屋。なかなかわかりにくいので、殺し屋というのとわかるらしいです。殺し屋というのは、屋は殺しのプロフェッショナルです。天国のような理想の城家を作るプロフェッショナルの集団で、それを書いたら、天城屋という漢字になりました。実は天城屋という漢字にしたかった理由がもう一つあります。さっき少し話しましたが、私の家が大変寒いところに生まれ育ちました。父が、100年ぐらいたった家を、祖先から譲り受けたのではなく、買ったと豪語しておりましたが、いくらか安いお金で親戚のおじさんから買ったようです。その家が好き

だったので、紙の障子、板戸のまま。その辺は子供の頃氷点下10度なんて平気でなっていました。

裏の川が荒川なのですが、その上でスケートができました。川の淵が凍ってスケートができるなんて、北海道でもあまりないらしいです。そういう寒いところで、お風呂に入って帽子とかかぶっていないと、すぐ髪が凍ってしまいます。そのような家で育ったので、寒い中は嫌だということで理想の家を求め続けました。そしてジブリの、天空の城ラピュタに出会いました。あれは、天の空の城と書きます。空を除くとすね、天の城になります。天空の城屋と書くかと思いましたが、あまりにも情けない、そのままパクリじゃないかと思われるので、天国のような理想の家作りをしようということと、ラピュタの天空の城という文字が目の前に浮かんで来て、この名前をつけさせていただきました。

私は50歳で会社を興して、サラリーマンをやって会社を持ってましたので、2年後の52歳の時に事業を立ち上げ、今62歳、10年です。後継者は自分の身内はやめておこう。ということで、血族で繋ぐことではなくて、天城屋という名前を継いでくれる志ある人間を社員に迎え、頑張ってもらい、役員なり代表になってもらおうと決めております。

おかげさまで、5名体制でいまして、実際の血の繋がりのあるのは0人です。奥さんは、手は繋がりますが、血は繋がっていません。他人なので、夫婦は仲良くというのがありますが、その他の方に、この会社を繋いでいただくというふうに考えています。ちょっと風変わりかもしれませんが、そうやって決めると、やっていく人たちも、自分の会社のように一生懸命やっていただいて、本当にこちらの方は、頭が下がるばかりです。倫理法人会の会長とか、いろいろさせていただいてるのですが、意外にだらしない男で、いろいろなところで、駄目なことをやるのですが、それをみんなリカバリーしていただけるのが社員であったり、会の会員の皆さんであったりして、何とか2年間、倫理法人会では会長職を務めさせていただきました。

この学びをして、人生そして企業の発展と地域、そういったものを、発展と貢献できるように頑張ってもらいたいと思います。これを機に、皆さんといろいろと意見交換とかできれば幸いに存じます。ありがとうございました。

石井さん、本当に楽しいお話をありがとうございました。石井さんがだらしないというイメージは私、全然なく、私こそものすごくだらしない人間で、会の運営もきちんとできてるのか、ものすごく不安です。本当に皆さんの力を持って、いろいろご指導をお願いします。

これはこうするんだ、と言っただけならば、そこで初めて、あ、そうかと是正されることがあります。会員増も、最初2名獲得した後、会員増強に動くぞというのが、少しおろそかになってましたので、会員増強しないといけなそう思いました。45日を22社で割るという発想はすごいですね。多くの方は若い女性に対して優しいですが、80歳の女性にもものすごく優しい人がおられて、その人曰く、80歳の女性と思っは駄目だと。20歳の女性が4人いると思えと。そういう何か、割り算のような関連が頭をよぎりました。

本当に貴重なお話をどうもありがとうございました。

点鐘 会長 松本則之さん

松本 則之会長

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2023.9.27 会長 松本 則之 会報・雑誌委員長 加藤 祐司
No. 7 幹事 松本 幸男 副委員長 浅見 克一

・例会日時 毎週(水)12:30~13:30
・例会場 ホテルシティプラザ寄居
・住所 寄居町大字桜沢888-1
・TEL 048(581)2468
・FAX 048(581)3530